

あやがわ



議会だより



議員18名 議場にて

創刊号

2006

NO. 1

平成18年7月21日

就任のごあいさつ	2
委員会構成	3
定例会のあらまし	4~5
一般質問に4人が登壇	6~7
委員会報告	8~11
傍聴記	12

臨時会

議長に

宮本勝利氏

副議長に

碓石眞己氏

議長

宮本 勝利



就任のごあいさつ

測りずも、新生綾川町議会第一回臨時議会において、議員各位のご推挙により、初代綾川町議会議長として、その任にあたることになりました。私自身にとりまして、限らない光栄であると共に、任務の重さを痛感するところでありませう。

今世紀に入り、国県町共に厳しい財政難の中、平成の大合併を余儀なくされました。綾上・綾南両町執行部、議員各位のご努力と多くの町民皆様のご理解のもと、新生綾川町が紆余曲折の末に誕生いたしましたことは周知のとおりであります。

しかしながら、私達には、この綾川町を本場に町民皆様が住みやすく、暮らしやすい町にするための責任があります。そのためには町民皆様に対して、早急に明確なる将来のビジョンの提示と具体的な施策を講じることが大切であります。

私も議会は、議員各位との協調のもと、町執行部と充分議論し、適度な緊張感を保ち、車の両輪のごとく、行政に邁進し、ノーマライゼーションの基本理念を全町域に展開することが、ひいては、町民皆様の幸せを構築するものと私は確信をいたしております。

何卒、町民皆様の格別のご支援、ご協力を心からお願ひ申し上げ、議長就任のご挨拶といたします。

平成18年第一回臨時会を5月11日に開会しました。

監査委員、固定資産評価審査委員の選任に同意。また、教育委員の任命にも同意。税条例の改正など、専決処分の15議案を承認して閉会しました。



副議長

碓石 眞己



5月11日、臨時議会で副議長という、身に余るポストをいただきました。私は、意識的あるいは無意識に議員必携をひも解いていました。議員とは、「住民全体の代表者として、議会を構成し、議会活動を通じて、住民の個別意思を統合して、町としての意思を形成する任務を有する」とあり、また、副議長は、「議長に事故あるとき、又は議長が欠けたとき、その職務を行う」となっており、合併を機に、町の生き方を左右する大切な時期、緊張感を持って真の議会運営を、ひたすらに貫いていかなければと改めて、心に誓った次第です。新しい「町政の季節」の始まりであると誰もがそう感じ、躍動感あふれる時代の空気の中で、限らない町の発展を予感し、心躍らせ、綾川町の現実をふまえながら、住民福祉の向上のため、闘い続ける人間でありたいと願う次第です。

住民の皆様、可能性の海への船出です。共に町政に参加をお願いし、就任の挨拶とさせていただきます。

● ● ● ● ● 新しい委員会のメンバーです ● ● ● ● ●



委員
大谷 照美



委員
石井 和義



委員
村瀬 秀則



委員
碓石 眞己



副委員長
長尾 進



委員長
香川 秀行

総務常任委員会



委員
宮本 勝利



委員
野中 邦夫



委員
河野 雅廣



委員
山亀 英信



副委員長
中西 一幸



委員長
造田 節夫

建設経済常任委員会



委員
安藤 利光



委員
福家 良治



委員
笹川 定義



委員
松浦 正昭



副委員長
田辺 健次



委員長
鈴木 義明

厚生常任委員会



委員 中西 一幸
副委員長 松浦 正昭
委員 山亀 英信
委員 長尾 進
委員 石井 和義
委員 安藤 利光

議会広報委員会

委員 碓石 眞己
副委員長 香川 秀行
委員 造田 節夫
委員 鈴木 義明

議会運営委員会

農業委員

(議会推薦)
大谷 照美
長尾 進
笹川 定義

監査委員

(議会選出)
福家 良治

土地開発公社理事

宮本 勝利
河野 雅廣
造田 節夫
笹川 定義
香川 秀行

でスタート!

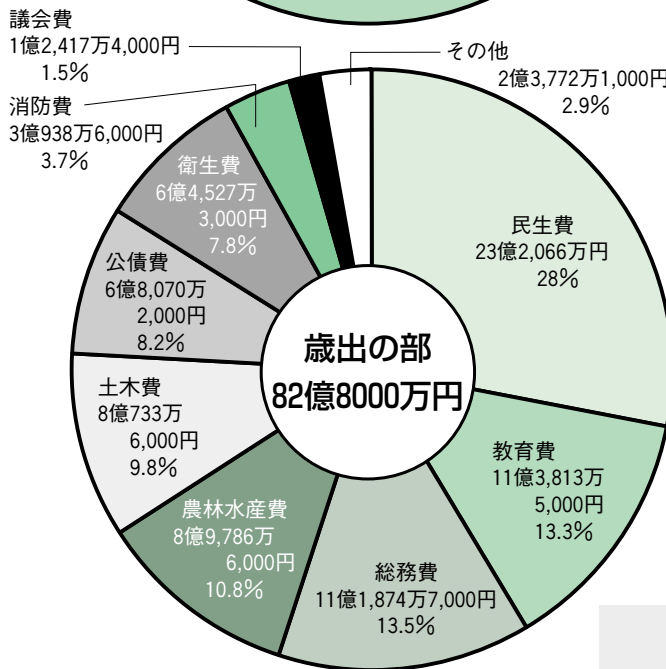
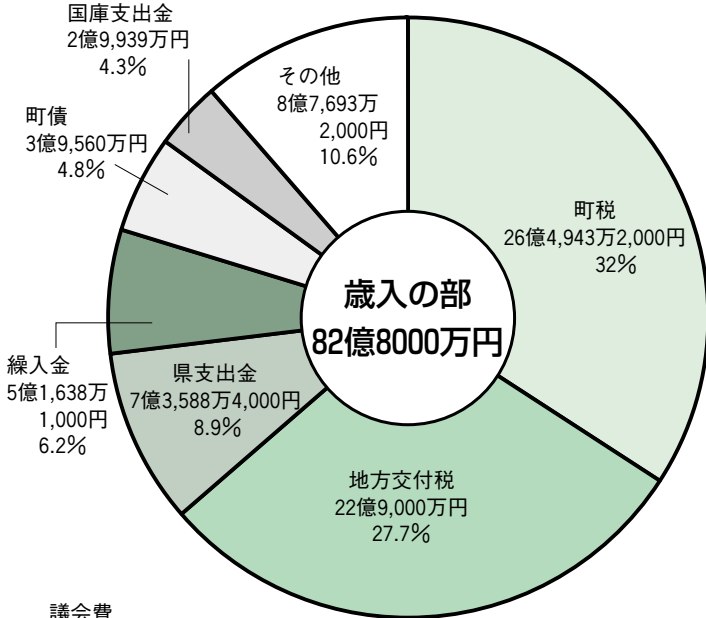
滝宮公民館にエレベーターを設置

平成18年第2回定例会は、6月19日から6月30日を会期として開会しました。町長の施政方針、4人の議員による一般質問に続き、平成18年度一般・特別会計予算案など25件が提出され原案どおり可決しました。

歳入面は、町税26億4,943万2,000円、地方交付税22億9,000万円を計上。また、財政町政基金からの繰入金として5億1,638万1,000円、町債3億9,560万円を計上しています。

一方、歳出面では、民生費23億2,066万円、教育費11億3,813万5,000円、農林水産業費8億9,786万6,000円を計上。また、義務的経費である公債費6億8,070万2,000円を予算総額の8.2%を占めています。

新規事業としては、教育費で、滝宮公民館のエレベーター建設工事として、4,000万円を計上。農林水産費で、北地区基盤整備事業負担金として、3,150万円を計上しています。



基盤整備事業が予定されている北地区



エレベーター設置予定の滝宮公民館

18年度一般会計当初予算 82億8000万円

特別会計

◎町営バス運送事業

3587万9000円
歳出は、運送事業費、
歳入は運賃収入365万
1000円、県補助金1
72万8000円、一般
会計繰入金3049万7
000円です。

◎国民健康保険

23億1576万3000円
歳出は保険給付費16億
3217万7000円、
老人保健拠出金4億55
0万円、介護納付金1億
2983万7000円、
保健事業費8255万
1000円です。財源は
国保税等です。

◎国民健康保険診療所

1億7979万9000円
歳出の主なものは、粉
所、羽床上、綾上の3診
療所の管理運営にかかる
総務費で1億431万
2000円です。財源と
なる診療収入は、介護事
業もあわせて1億746
万9000円を見込んで

います。

◎老人保健

33億7376万8000円
歳出の主なものは医療
諸費で33億6334万
5000円です。財源は
支払交付金等を充当して
います。

◎介護保険

16億6261万1000円
歳出の主なものは、保
険給付費で16億256万
4000円。歳入は介護
保険料、国庫支出金、支
払基金交付金等を充当し
ています。

◎下水道事業

8億1019万7000円
歳出は、総務費で1億
5759万1000円、
施設費で4億6068万
5000円、公債費で1
億9192万1000円。
歳入は分担金および負担
金等を充当しています。

◎火葬事業

3191万5000円

◎墓園事業

2396万2000円

◎育英事業

1055万6000円

◎農業集落排水事業

1245万9000円

◎国保陶病院事業

収益的収支
収入
13億5732万5000円
支出
14億4074万4000円



地域密着の医療を提供する陶病院

◎水道事業

収益的収支
収入
5億8532万5000円
支出
5億7407万6000円

固定資産評価員の 選任同意

綾川町の設置にともな
い、不在となっていまし
た固定資産評価員に祐安
正氏を選任することに同
意しました。

祐安 正氏(62才)



意見書を可決

違法伐採問題への対応強化を求める意見書

森林は、木材資源の供給、国土保全、水源のかん養をはじめ、生物多様性の維持、地球環境の保全など多面的機能を有している。国内のみならず世界中の森林が、その機能を最大限かつ持続的に発揮できるよう努めるとともに、本年2月、京都議定書が発効し、我が国が温室効果ガス6%削減の約束を確実に達成するためには、森林経営による獲得吸収量の上限値3.9%の確保が不可欠である。しかし、違法伐採などにより、開発途上地域の熱帯林を中心に世界の森林の減少が続いており、木材輸出の自然環境のみならず、地球環境への影響が懸念される。このため、違法伐採問題については、国際社会が協力して、森林の保全などを進め、世界全体で持続可能な森林経営を推進していくことが必要である。(中文省略)よって、国においては「違法伐採された木材は使用しない」という基本的な考え方に基つき、政府調達の実施や、違法伐採木材の輸出入規制に関する木材生産国と消費国双方の取組・協力など、違法伐採問題への対応をさらに強化されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。
平成18年6月30日

提出先…内閣総理大臣・外務大臣・経済産業大臣・
環境大臣・農林水産大臣・林野庁長官

香川県綾歌郡綾川町議会

田辺 健次 議員

Q

小学校統合・未使用施設の活用は？

A

有効活用を図る

問 旧綾上町では、小学校が統合された。関係者の努力により県下でも画期的注目を浴びており、大きな改革である。中でも粉所、西分の2ヶ所ではNPO法人により前向きに活用されている。一方、羽床上、西分南の2ヶ所については具体的な活用がされていないと思う。そこで、①未使用施設の取り扱いには教育委員会からの課が引き継ぎするのか。②借入金返済はどのようになるか③耐震補強工事の義務付けはあるのか④運動場を含め



有効活用が待たれる旧羽床上小学校

ての有効活用の具体的な案を示してほしい。

町長 旧羽床上・旧西分南小学校は、町創り計画のなかで有効活用をはかる必要がある。学校施設は、廃校時点で、普通財産に移行し、跡地利用を早急に検討したい。学校施設建設時の借入金の返済については、施設の外使用、また解体撤去の場合は繰上償還する。耐震補強工事の義務付けについては、学校施設ではないので、特に必要はないと考えている。運動場は、旧校区での夏祭り、ソフトボール等に利用されている。今後の利活用は、地域の方々・各種団体と協議し、有効活用をはかりたい。

村瀬 秀則 議員

Q

堤防改修事業再開は？早期実現に向け、国・県に要望する

A

問 綾川流域羽床地区の河川拡幅・堤防改良・旧橋台撤去の事業再開は。町長 河川の水位の上昇は、長柄ダムと府中ダムとの連携により、ある程度は避けられる。河床整理、浚渫、渇木の撤去等については18年度事業にて実施予定。あわせて綾川流域全般の綾歌工区の事業の早期着手と、長柄ダムの再開発など早期実現に向け、国、県に要望する。

Q 介護老人保健施設の整備は

A 本来の趣旨に沿った施設整備、設置を考えている

問 医療法人社団有隣会が設置要望し、同意を求めていたが、その後の経

健施設やケアハウスへ転換するよう考えており、また住民のニーズも非常に高い。さらに最近の老人保健施設は運営面で介護老人福祉施設的になっているため、本来の趣旨にあった施設整備、設置を考えている。

過は。あえて自治体が推し進める理由はなぜか。また民間ではなぜいけないのか。税金のある民間法人を避けてのメリットは。町長 有隣会と協議してきたが、その際、町でも介護老人保健施設設置の考えを伝えた。しかし、理解が得られず、今日に至っている。町が建設に至った経緯は、陶病院・保健センター建設の際、保健・医療・福祉の地域包括ケアとしての構想を考え整備し、残りは介護施設の整備ということになっている。税金のある民間法人を避けてのメリットは、国において、療養病床を38万床から15万床に集約し、残りは老人保



'04年台風23号により増水した綾川

安藤 利光 議員

放送の仕方や時間を変更すべきでは

放送技術の向上を目指す

Q A

問 防災行政無線放送は、

町民からの苦情が多い。お金をかけて事業したわりに音声も悪い。火災時の放送の仕方や、朝・夕の放送時間も季節に応じて変更すべきでは。

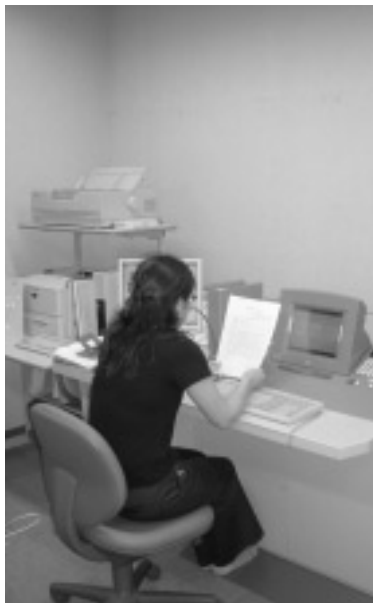
Q 耐震化促進を

A 国の制度を活用し、県にも財政支援を求める

問 公立学校の耐震化率は、平成18年4月現在、

町長 施行業者に調査を提示し、再調整をさせた。放送技術の向上を目指し検討したい。火災時の放送も研修をしていく。放送時間は、合併後、日も浅く当面は今のままで行いたい。

教育長 綾川町の耐震化率は33・3%である。今後、新町の年次計画によ



住民生活に欠かすことのできない防災無線

り、今年度施行される国の「安全安心な学校づくり交付金」の制度を活用し、整備したい。県にも財政支援を求める。

大谷 照美 議員

建設課と県土木との連絡は 県との連携をより密にした協力体制を確立する

Q A

問 有岡から滝宮本町に向かう途中に念仏道路があるが、大水の時、民地や町道が埋没したことが

何度もある。40数年前に当時の関係議員がその問題を重視し、早く改修するようにと町建設課および県土木に要望を重ねてきた。特に4年前は真鍋現知事に口頭による直訴をした。



小野地区白髪淵しらがぶちの下流域

昨年測量をしたようだが、今日に至っても工事を着手する気配が見えない。

建設課と県土木とが連携を密にして多年にわたる住民の要望を満たしてほしい。

町長 地元要望を受けて県が測量調査を一部着手した。今後、緊急性の高いところの局部改修等により、安全で安心できる地域社会を実現するため、県との連携をより密にした協力体制を確立し、ご指摘の箇所のみならず綾川町にかかる河川改修の早期実現を県土木部に要望していきたい。

ほかにもこんな質問がありました

村瀬 秀則 議員

Q 地球温暖化防止を呼び掛ける取り組みを町民に発信できる運動が必要と思われるが。

A 小中学校において、使わない電灯の消灯を指導している。また町民に対して、広報誌で啓蒙啓発を実施していく。

安藤 利光 議員

Q 地方交付税の制度堅持を。

A 県町村会等を通じて国に働きかけたい。

Q 合併20年目までの財政推計は。

A 歳入総額は今後緩やかに減額傾向、歳出は人件費を削減、維持補修費、扶助費は横ばいなし微増での計上。繰出金は、介護保険等に大幅な増額が予測される。

Q 防災対策の充実。A 危機管理体制の充実強化に努める。

Q 町民バスは地域間が利用しやすいようにすべきでは。A 一体性のある運行計画を検討する。

Q 3役の退職手当の見直しをすべきでは。A 適切な退職手当になるよう審議する。

Q 農業を守る施策は。A 本町の農業を支える小規模農家が農業を継続できる環境の整備をはかりたい。

Q 就学援助制度を有効なものにするべき。A 適正な運用がはかれるよう、検討したい。

6/22.23

一般会計

生涯学習センター建設視野

役場庁舎東

問 図書館施設整備費の内容は。

答 今年度は庁舎の駐車場等に利用するため、既存建物の取壊し工事予算も計上しています。将来

的には図書館機能を含む生涯学習センターの建設等も視野に入れ、各方面のご意見を拝聴しながら検討する考えです。

広報戸別発送

見直しては

問 自治会未加入者への町広報の戸別発送に多額の予算が計上されているが。

答 従来、綾上、綾南両町ともに広報の戸別郵送は行っていないが、合併など住民生活に大きな影響のある情報をできるだけ多くの住民に提供するため、合併後、戸別発送をしています。自治会加入率の向上などにより、経費の削減に努めた

交通指導員の適正配置は

適正配置は

問 現在、交通指導員は旧綾南4名、旧綾上5名だが、綾上小は、スクールバスで児童の送迎を行っていることから、適正な基準により配置すべきでないか。

答 綾上小スクールバスは、最寄りの停留所で乗降していて、各児童の家までは運行していない。今後、実態を調査し、検討したい。

コンビニ収納を

問 24時間納付可能なコンビニでの収納を導入しては。

答 納税者の利便性が図れると思われるので、調査研究したい。

綾上中に

ランチルームは

問 綾上中学校にランチルームが未整備だが、今後の方針は。

答 同校は、昭和36年の建築当時から、教室で給

火災緊急放送

迅速な対応を

食を食べている状況です。今後、校舎の老朽化に伴う改修と併せて、検討します。

問 火災時の緊急放送について消防団員招集サイレンから火災場所の放送までに数分の時間を要し

ている。もう少し迅速な対応ができないか。

答 合併により配備した高松市消防局の緊急情報システムにより、位置が特定されます。その後、放送するに当たり目標物の確認等に時間を要しており、職員の地理研修等を行ない、迅速な伝達ができるように努力する。



100円の低料金 通院者、通学生から喜ばれています

委員会報告

バス会計

問 2社への運行業務委託料の内容は。

答 旧綾南町は、車両の維持費や燃料費等を受託業者が負担する方式で2,116万8,000円。旧綾上町については運転業務のみを委託する方式で1,050万円です。

育英会計

問 平成17年度の寄付額と件数、及び寄付についての広報は。

答 5人の方から100万340円の寄付を頂きました。広報周知については、今後検討します。

綾川町過疎計画

問 委託の形態が異なるのは、現段階では止む得ないが、今後十分調査研究して統一できるよう努力願いたい。

答 運行路線も含め、検討します。

この計画は、旧綾上町を対象とするもので、これまでの計画に基づき、生産基盤や生活環境及び交通通信施設等を重点に整備するものです。

問 この計画内容を全て実施することは、財政運営上、無理はないか。

答 この計画は過疎債の発行を可能にするという意味合いが大きく、実際の事業実施は、5カ年の総合計画を策定する過程で再検討します。

建設経済委員会

6/26

一般会計

町道の草刈り助成は

問 合併後どう助成するのか

答 旧綾上町の助成制度をそのまま継承しており、自治会ごとに申請を出してもらうようにしている。

町道の草刈り幅員は

問 幹線道の幅員から1メートルまでの幅をしているがもう少し広く刈れないか

答 現地を調査して必要に応じて対応したい。

府中湖インター

問 これまでの経緯と進捗状況について

答 平成16年度より、全国でスマートインターの社会実験が行われているが、規制が多いため、府中湖インターにおいても新たな進入路の必要性等の問題もあり、全国の結

果を踏まえて具体的な方向付けを行いたい。

専門職を

おいてはどうか

問 設計委託料の占める割合が多く、内容の審査等専門職を置いてはどうか

答 必要に応じて対応したい。

道路災害の対応は

問 側溝など閉塞している箇所を取り除いてほしい

答 現地を調査し、町内のバランスを考え対応する。維持管理的なものについては地元でお願いしたい。

認定農業者数は

問 町内の認定農業者数は

答 現在綾上地区36人、綾南地区48人で合計84人です。

行政負担はなぜ

問 稲作文化伝承保存会、サマーフェスティバルなど、行政負担にしたのはなぜか

答 地域振興および価値

のある伝統文化の伝承により、地産地消・食育等へ活用するとの観点から行政負担により実施したい。



毎年盛大に開催されるサマーフェスティバル

委員会報告

綾上地区での配水管は

問 小口径の配水管のため、消火栓の設置ができていないが配水管の更新時にしてほしい

答 消火栓は75ミリ以上の配水管に設置している。消火栓を設置するため、配水管の口径を大きくしても、排水流量がなければ水質に問題が生じるので、十分に調査および検討する。

排水管の更新時には消防担当と、事前に協議をしている。

水道事業への補助金は

問 料金収入と人件費補填に一般会計から繰り入れをしているが来年度以降もあるのか、起債もあり、長期的な財政計画は。

答 本年は、一般会計が5000万円の繰り入れを予定している。公営企業は独立採算が原則であり、適正な水道料金の設定がもっとも重要である。今後5カ年計画を策定する中で、早い段階で料金

について協議したい。

ポジティブリスト（農薬飛散）に対する対応は

問 農薬の飛散防止にどのように対応していくのか

答 農家に対して、農薬散布時の確認項目など、啓蒙・啓発していきたい。

繰入金金の推移は

問 下水道事業計画にもなつ、一般会計からの

繰入金金の推移は

答 本町は下水道普及率が県平均より低いいため、現在、県で策定中の、全域生活排水処理構想の最終目標年度である平成30年度までの施設整備の完了を目指しているので、現状の事業費で整備促進を進めたい。



施設設備が急がれる下水道工事

厚生委員会

6/27

一般会計

「おむつ手当」の現金化は

問 おむつ券での支給なので、町内でしか利用できず、不便であるので現金化出来ないか

答 現金化すると使途不明になるおそれがあるので、おむつ支給券方式の現状は変えない。補助金もあげたばかりであり、適切な金額かどうかは、常に状況調査をする。

「えがお」の

健診について

問 1歳半、3歳の健診は「えがお」のみであり、大変混雑している。いきいきセンターなどでも実施することは出来ないのか

答 検診時の混雑に対してはスタッフ、場所など十分検討したい。

人権・同和対策事業費

問 同和対策事業の法律が失効した中での同和団体に対する補助金はどう

答 一般対策に移行した中で、抑制する方向で対応しているが、差別事象が存在するので、同和問題を含めた人権運動に対する対応は今後も行う。

病児保育の拡充

問 病児保育室は現在3部屋しかないので拡充してほしい

答 必要であれば陶病院とも十分検討する。

水質確保、悪臭防止対策

問 綾川の水質確保、悪臭防止に対する町の取り組みについて聞きたい

答 河川の水質測定は従前どおり実施する（10カ

委員会報告



放課後クラブとして利用される旧保健センター羽床分室

所)。悪臭防止は地域指定が有効であるが、特定施設に対してはできない。悪臭苦情に対しては、県との連携により、改善が図られるよう指導していく。

放課後クラブの運営は

問 放課後クラブの運営はどのような基準で行っているのか

答 基準面積が決められており、最近人数が増加してきたので、羽床につ

いては、旧保健センターを改修して対応したい。実施時間については、旧2町間でばらつきがあるので、学校、父兄の意見を聞き検討する。

ゴミ袋と野外焼却

問 ゴミ袋の規格の改善、また野外焼却の指導はどのようにしているのか

答 順次、町指定袋に切り替えていく近隣市町も参考に家庭で使用しやす

い形状にするが、条例等の改正などもあり準備が整い次第実施する。高齢者等にも対応したゴミ袋を考えている。

野外焼却については広報誌、防災無線等で啓発し、苦情に対しては個別指導をする。

国保会計は

問 23億の国保会計は、今後、健全な運営がされていくのか

答 対象者の増大により、医療費が増加している現状を考え、今後保険税が上まらないよう保険事業の推進に力をいれたい。

綾上地区にも

介護保険施設を

問 綾上地区は高齢化率が高いので、需要も高いと思われるので、介護保健施設を計画してほしい。

答 綾上地区は高齢化率が高く、町全体としての方策を今後検討する。

町営墓地の現状は

問 町営墓地の残区画は、また新たな計画はごうなっているのか

答 松熊、くらかけの2墓園はそれぞれ10区画が未貸付である。そのほかの3墓園はすべて貸付済みである。また、新たな墓園については5カ年計画の中で検討したい。

陶病院の療養病棟

問 療養病棟の削減がいわれているが、陶病院は削減の対象になる可能性があるのか

答 国の方針により、療養病床の削減が計画されており、陶病院は医療保険適用の療養病床です。病院経営に影響のおそれがあるので、一般病床への転換等をして現在の63床は維持したいと考えている。

わかりやすい案内標識に

問 陶病院の、道路からの入口がわかりにくいので改善してほしい

答 案内標識を改善したい。

綾川斎苑の整備は

問 近隣市町に比較して見劣りする綾川斎苑を早急に整備できないか

答 ニーズに対応した施設が出来るよう、調査研究したい。



築後38年が経過した綾川斎苑

議会 傍聴記



菅原 紀男さん
(山田地区)



合併後、はじめての町議会であったので、どんな質問や討論がされたのか、強い関心を持って傍聴した。中でも、現行町営バスについて「医療機関、役場、公民館や電車との接続など町民の足と

して不可欠なものだ。(中略) 誰もが利用しやすい町営バスにしたい」という心強い答弁に、都市化が進む電車沿線の旧綾南地域と、過疎・少子高齢化で交通困難に悩む旧綾上地域との統合の出発点を感じた。

しかし、計画的な財政運営が確立できるまで新規事業は見送られるようだが、合併の趣旨を尊重し、先ず町民の生活基盤を安定させ、誇りと生きがいを持って安心して暮らせる新しい町づくりの実現に取り組む議員の情熱に期待する。

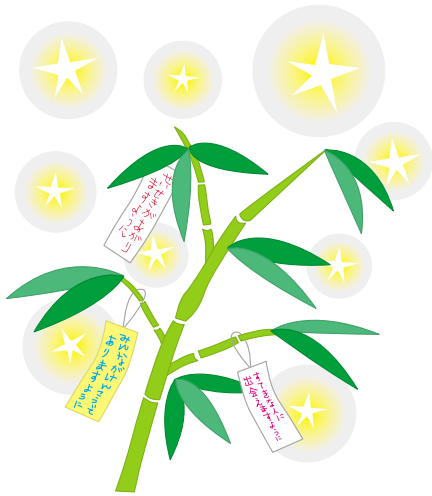
片岡 栄一さん
(千足地区)



合併後、初の本会議を傍聴しました。今回特に関心を持ってみたのが、議場内の雰囲気と18名の議員さん方の言動です。

これから4年間の舵取りこそが、新生綾川町の命運を握っているからです。厳しい雰囲気と熱心な質疑がみられ、これこそ議会だと感じました。

一方、傍聴席は数人でしたので、我々町民はもつとチエック機能を發揮して議会に圧力をかけたく思います。時間が許す限り傍聴したいと思います。



あなたも、議会を傍聴してみませんか。

手続きは住所・氏名・年齢を記入するだけです。

傍聴受付
住所
氏名
年齢



6月定例会の傍聴者数は10名でした。
次の定例会は9月の予定です。

編集後記

綾川町が誕生してからの議会だより創刊号をお届けします。

綾川町定例会も各常任委員会において慎重・審議のなか全議案を可決して閉会しました。

今回は、旧綾上町・旧綾南町の議会だよりに基づいて作成されました。

議会だよりは、住民の皆様に親しんで読んでいただけるような紙面づくりを目指しております。

皆様のご意見をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。

新しい議会広報委員が決まりましたのでよろしくお願います。

議会広報編集委員会

- 委員長 中西 一幸
- 副委員長 松浦 正昭
- 委員 山亀 英信
- 委員 長尾 進
- 委員 石井 和義
- 委員 安藤 利光